

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社ピーエムオフィスエー)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (※具体的な取組がなければ、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
						169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別、年齢、障がい、国籍、出身などに関係なく、中国人スタッフの採用や女性スタッフの子育てしやすい環境作りを行っている。				5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			会社全体、及び各部署ごとで定期的に会議や面談を行い、個人個人のフォローを行っている。				5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			原則、8時間を定時としており、+2時間以内の残業時間にするよう会社全体で取り組んでいる。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人労働者も日本人同様に平等の待遇を行っている。			4.4					8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			安全第一とした、衛生的な労働環境の整備、運営を行っている。			3					8									
6 労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			フレックスタイム制を導入しており、労働者に働きやすく、労働者の生活を基盤とした社内作りや、個人の仕事ではなく部全体で仕事に取り組み、個々のメンタルをお互いに支えあっている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材を採用しており、多様な働き方(時間や場所)多様多様に働ける現場環境を整えている。				5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			従業員の適性にあったジョブローテーションを適用している			4	5.5				8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法、労働契約法等を理解し、原則的に対応している。				5.5				8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			業務開始時間前にはラジオ体操、運動等を行い、積極的に健康促進している。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			基本的に分別廃棄は勿論のこと、廃棄せずまだ使えるものを再利用、再活用を行っている。											11.6	12		14.1			
12 環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			消費電力抑制のため、省エネ設備に更新した。また電気事業者を変更し、使用電力をリアルタイムで見える化することで従業員自ら省エネに対する意識が向上した。							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			再生可能エネルギーにより発電された電気を購入し、CO ₂ 排出量0kgを実現。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非数値】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取組協定があれば、併せて記載） （【非数値】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			自社活用が生物多様性に悪影響を及ぼさないことは尚のこと、自社空きスペースを利用し農作物や植物を育てている。						6.6									15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			自社製品の廃棄ランナーを回収、溶かして再利用している。												13		14.1			
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ									6.4 6.6											
環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ					3.9			6	7						12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ															12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ									7.2							13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ															12.2	13	14	15		
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄に理解するとともに、社内全体に周知徹底している。																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている。																16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			商標等知的財産権の取得・管理している。							8.2 8.3	9									
公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報適切に管理している	基本			個人情報保護方針を定め、外部に周知し社内でも周知し徹底している。																16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																			16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ							5			8		10			12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	現在資料を作成申請中		3					8	9	10							17	

	チェック項目	取組 レベル	【非数値】 の場合 選択入力	【不定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取組概要があれば、併せて記載) (【非数値】を選択した場合はここに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	製品・サービスの安全性 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品の対象年齢を定め、取扱説明書等に注意事項の記載をしている。			3.9									12.4					
30	品質保証 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			出荷前の商品を抜き検査または、全数検査を実施している。									9								
31	環境配慮 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ									6						12	13	14	15		
32	社会課題解決 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域への配慮 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			日本のまちをかわいく元気にをモットーにし地域の活性化に取り組んでいる。				4					9		11	12		14	15		17
34	社会貢献活動 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			諏訪市公認キャラクター「諏訪姫」の着ぐるみで諏訪地域の社会貢献活動を積極的に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
35	地域資源 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外販）している	チャレンジ											8	9		11	12	13				
36	内部管理体制 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営目的等は定期的に社内会議で説明、従業員に周知している。								8	9								17
37	法令遵守 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			コンプライアンスの重要性を全社員に向けて発信している。																	16
38	組織体制 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			経営者を中心に専門部署を整備している。																	16
39	ステークホルダーとの対話 ・ステークホルダー ^(※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している ^(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本			ステークホルダーの意見を親身に聞き、製品開発及びサービス向上に努めている。																16	17
40	リスクマネジメント ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																				16
41	社会的責任 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																				16
42	事業継続 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ												9		11		13.1			16	
43	事業承継 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ											8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
 - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
 - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定